



当尾小女子ハンドボール部



入口真美さん

スポーツでも活躍

今年も多くの市民が全国の大舞台で活躍。12月16日開催の全国中学駅伝では松橋中男子が見事5位に入賞。入口真美さん(45)＝三角町＝は全国障害者スポーツ大会2018の陸上競技で金・銅のメダルを獲得。当尾小女子ハンドボール部は県代表として全国大会に出場した。

窓口業務委託開始

4月から住民異動届の受付や印鑑登録証明書発行事務など窓口27業務の民間委託を開始した。



市議会議員選挙

4月22日、任期満了に伴う市議会議員一般選挙が行われ、24人が立候補。22人の新議員が決定した。投票率は63.48%。



てんじょうきょう
天城橋開通

フォトコンテストグランプリ作品

5月20日、天草五橋の開通以来52年ぶりに天城橋が開通。綱引き大会など多くの関連イベントも開催された。

ブランドロゴ決定

9月、定住促進ブランドロゴマークが投票により決定した。キャッチフレーズは「ウキニスム」。



防災拠点センター(小川)



災害公営住宅

復興に向けた取り組み

熊本地震からの復興に向け、被災者の恒久的な住まいを確保するため災害公営住宅を全200戸建設予定。7月に第1号の御領第2団地が完成した。また、市内6カ所に防災拠点センターを計画。災害時の避難所や地域防災組織の本拠地としての役割を担う。

うきモビ始まる

8月、三角東港に「超小型モビリティ」「セグウェイ」を導入。市内の新たな観光の形として、観光客などに利用されている。

超小型モビリティ うきモビ



啓発活動の様子



「さしより野菜」スタート

食事のはじめに「さしより(まず、とりあえず)」野菜を食べ、健康寿命を伸ばそうと、4月から本格スタート。ホームページや広報紙でのレシピ紹介や、協力店(ベジショップ)での啓発活動、レシピ募集「ベジ1コンテスト」などを実施している。

宇城市

2018年の出来事

Res Gestae Populi Ukini

2018年、全国では地震や豪雨など大きな自然災害が続きました。平昌冬季オリンピックやワールドカップロシア大会での、日本選手の活躍も記憶に残りました。熊本地震から2年8カ月が経ち、宇城市では多くのことが始まり、復興に向けた動きを加速させています。

オールピーエー RPA本格導入

市役所では人手不足を解消するためRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を全国初の本格導入。パソコン上の手作業を自動化することで、作業時間の大幅な短縮や正確性の向上が見込まれる。全国から30以上の団体が視察に訪れている。



ビジネスサポートセンター開設

4月、起業・創業を目指す人を支援し、新たな雇用創出につなげることを目的に、小川町に開設。入居企業第1号として、(株)あしたのチームが事業開始を予定している。

もうこしゅうらいえことば 蒙古襲来絵詞のふるさと企画展示

11月、竹崎季長が描かせた「蒙古襲来絵詞」が17年ぶりに熊本で展示されたのに合わせ、7月にオープンした市郷土資料館で開催。関連イベントにも市内外から多くの歴史愛好家が訪れた。

東福寺所蔵 竹崎季長絵詞

